

忠生中学校だより

げんとう かげ
原頭の風

—2026年度 第3号—



2026年6月19日発行

子どもの数は命の数

～生徒が主役で、笑顔いっぱい光り輝く学校～

町田市立忠生中学校

校長 高橋 博幸



Tel 042 (791) 0821

E-mail j-tadao@gs.machida-tyky.ed.jp

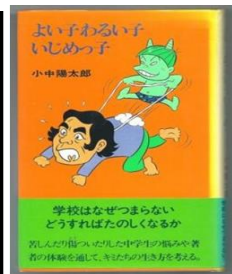
勇気の一步が、笑顔の学校をつくる！ 校長 高橋 博幸

6月は別名「水無月」と呼ばれます。これには、田植えが終わって田んぼに水を張る時期であることから、「水張り月（みずはりづき）」が変化したという説など、いくつかの由来があるそうです。さて、今月号の学校だよりでは、6月1日（月）の全校朝礼でお話した「校長講話」の内容をご紹介します、今月号のご挨拶とさせていただきます。

晴れて暑い日が続いています。気温や湿度も高くなる日が多くなってきました。熱中症にならないように、こまめな水分補給をお願いします。また、期末考査も来週の水曜日から始まります。健康管理が大切な時期です。「早寝・早起きをする」「三度の食事、特に朝ご飯をしっかり摂ること」「適度な運動をすること」など、健康管理に十分注意して過ごしてほしいと思います。

さて、今日から6月がスタートしました。6月は「いじめ防止ふれあい月間」です。いじめ防止ふれあい月間とは、「人とのふれあいを大切にする。つまり、お互い相手の立場を考えながら行動し、人間関係を良くしていこう。」という月間です。友達との関わり方を見つめ直し、いじめや暴力行為のない平和な学校づくりにみんなで取り組む月です。そこで、私は小中陽太郎さんという方が書いた「よい子わるい子いじめっ子」という本を読んでいます。その本の中に「いじめっ子の気持ち」という文がありました。ちょっと読んでみますね。

本当に強い人間はいじめなどしない。自分に自信のない人間が、自分と違う者を笑って、そして自分のつらさや劣等感を忘れようとするのだ。いじめの問題についてぼくはこう考えている。まず、その人が、自分と違う言葉をしゃべったり、考え方をすること、ありのままの事実として受け入れよう。大事なことは、この世には、自分と違うことを大切にしている人間もいるということだ。大学にはいることが大事な人もいれば、ホームランを打つことが世の中で一番うれしいと思っている人もいる、と知ることだ。



さて、皆さんはどう思いましたか？私は、「本当に強い人間はいじめなどしない。自分に自信のない人間が、自分と違う者を笑って、そして自分のつらさや劣等感を忘れようとするのだ。」と言うところに共感しました。みなさんは、いじめはよくないとわかっていると思います。でも、誰かがひどいことを言ったり、したりした時、一緒に加わることで、いじめる方になることがあります。本当は一人でも守ってあげるのが一番強い人だし、一番優しい人です。そのときはとても勇気が要ります。

でも、やっぱり、いじめはよくない事なのだから、その勇気が出せるようになりたいですね。そして、自分ではその勇気が出せなかったとしても、勇気を出して注意をしたり、守ったりしてくれた人が、今度、逆にいじめられないようにみんなで守ってあげることも大切です。いじめをやめさせた人が、次はいじめられてしまうのでは、いつまでたってもいじめはなくならないと思います。

みんなでいじめを無くそうという気持ちを持ち、「正しいことを正しい！」「悪いことは絶対ダメ！」という雰囲気を作って欲しいと思います。みなさんは、自分と違う色々な人とも仲良く生活していく気持ちを表して欲しいと思います。全ての大人、先生方とみなさんが力を合わせて、学校からいじめを無くし、生徒のみなさん一人ひとりが笑顔にあふれる楽しい忠生中学校をつくっていきましょう。みなさんの行動に期待しています。

【全校朝礼校長講話より】

今月も保護者の皆様や地域の方々のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎ 修学旅行を終えて～仲間とつくった最高のメモリー～

5月14日（木）から、3年生は2泊3日で京都・奈良へ修学旅行に行ってきました。生徒たちは、数々の世界遺産や国宝などの神社仏閣、仏像、建造物について、事前にしっかりと調べてから出発しました。しかし、実際に現地を訪れたことで、「自分の目で確かめること」、「肌で体験すること」の大切さをあらためて実感したことと思います。

2日目の班行動ではバスや私鉄を使い、自分たちの力だけで見学地を巡りました。いくら事前に計画を立てていても、初めての土地では予期せぬことが起こるものです。逆方向のバスに乗ってしまったり、見学に思った以上の時間がかかってルート変更を余儀なくされたりする班もありました。何度も本部の先生に連絡を入れ、乗るべきバスを確認した班もありました。素晴らしかったのは、どの班も一人ひとりが規律を重んじ、状況に合わせて臨機応変に行動できたことです。その姿には本当に感心させられました。

止観体験（座禅）や漆器の加飾体験など、さまざまな本物に触れた3日間。生徒たちは、見事にスローガン「やっば京都・奈良 ～making memories～」を達成し、一回り大きく成長して帰ってきました。



◎ 落語教室～講師は「笑点」にレギュラー出演の立川晴の輔師匠です～

5月25日（月）5校時に1学年の生徒が「表現力の育成」をねらいとして落語教室を実施しました。テレビの「笑点」にレギュラー出演している立川晴の輔師匠を講師に迎え、古典芸能としての落語の魅力存分に体験しました。

生徒の皆さんは、初めて生で見る落語に大笑いしていました。笑いの中にも「聞こえる」よりも「聞く」ことで内容を深く理解できるというお話や、自由に「想像力」を発揮することの大切さを話されました。また、本格的な落語「桃太郎」と「寿限無」の2席を披露してくださいました。生徒や先生、保護者、地域の皆さんから盛大な拍手がありました。立川晴の輔師匠、ありがとうございました。



◎ 笑顔と学びが輝いた2日間 ～9組 宿泊校外学習～

6月11日(木)から、9組の生徒たちは1泊2日の宿泊校外学習に行ってきました。初日は、まず「江戸東京博物館」を訪れ、様々な時代の江戸・東京の文化に触れました。午後からは「東京大空襲・戦災資料センター」にて、語り部の西尾静子さんから当時の貴重なお話を伺いました。生徒たちは真剣な表情で耳を傾け、平和の尊さを深く学んでいる様子でした。その後、ディズニーショップ「ボン・ヴォヤージュ」でお土産選びを楽しみ、宿舎である浦安市青少年交流活動センター「うら・めーる」へ移動しました。夕食後のレクリエーションでは、「なんて言ったかな？」ゲームや班対抗リレー、ジェスチャーゲーム、アメリカンドッジボールなどを行い、大いに盛り上がりました。生徒たちの弾けるような笑顔がとても印象的でした。



翌日は、梅雨の晴れ間に恵まれた「金田みたて海岸」で潮干狩りを行いました。青空が広がる遠浅の海岸で、生徒たちは夢中になって取り組み、たくさんのハマグリやアサリを収穫して大喜びでした。次に訪れた「東京都葛西臨海水族園」では、スタッフの方から『SDGs～まぐろを食べ続けるために～』というテーマで講義を受けました。分かりやすく興

味深い内容に、生徒たちは熱心に聞き入っていました。講義の後は、お楽しみのランチタイムです。「まぐろかつカレー」か「豚肉炙り焼肉丼」から好きな方を選び、たくさん動いてお腹が空いていた生徒たちは、全員がきれいに完食していました。午後は班ごとの自由見学です。生き生きと泳ぐマグロやサメの群れ、愛らしく歩くペンギンの姿などを、友達と仲良く楽しそうに観察していました。見学や体験を通して多くのことを学び、仲間との絆も深まった大変充実した2日間となりました。



◎ 3週間にわたる教育実習が終わりました

5月11日(月)から3週間にわたり、本校で教育活動を行ってきた3名の教育実習生が、5月29日(金)に実習期間を終えました。実習生の先生方は大変熱心に教材研究に励み、休み時間や放課後には生徒たちと楽しそうに会話する姿が毎日のように見られました。将来、教員を目指すにあたって、忠生中学校での日々は非常に貴重で素晴らしい経験となったようです。

この度、3名の先生方に実習を終えての感想を寄せていただきましたので、ぜひご一読ください。

R. Sさん【理科】



不安と緊張から始まった実習でしたが、自分なりに試行錯誤しながらチャレンジを続ける、とても貴重な3週間となりました。生徒の皆さんとは授業だけでなく、休み時間や給食などたくさんの時間を一緒に過ごすことができ、本当に嬉しかったです。自己紹介の時に教えてもらったおすすめの甘味処には、土日を使って実際に行ってみました。温かく接してくれた皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を生かして、生徒一人ひとりに寄り添い、安心して成長できる環境をつくれる教員になりたいと思います。温かく支えてくださった生徒の皆さん、先生方、本当にありがとうございました。

K. Oさん【数学科】



3週間という短い期間でしたが、とても充実した日々を過ごすことができました。これは、忠生中の先生方、そして生徒の皆さんの温かいご協力があったからこそです。心より感謝申し上げます。生徒の皆さんに伝えたいことは一つ、「諦めない心をもつこと」です。私は大学を卒業した後、もう一度大学に入り直して今回の教育実習に臨みました。色々な壁がありましたが、こうして無事に実習を終えられた今、とても大きな達成感を感じています。しかし、これで終わりではありません。教育実習は教員になるための通過点であり、ここからが「始まりの始まり」です。私はこの経験を胸に、今後もさらに精進していきます。皆さんもぜひ、諦めない心をもって、それぞれの夢に向かって突き進んでください。3週間、本当にありがとうございました。

A. Sさん【英語科】



忠生中学校のみなさん、こんにちは！3週間の教育実習では、授業だけではなく、休み時間や学校生活を通して生徒の皆さんとたくさん関わることができました。毎朝、廊下に響く元気な挨拶が始まる学校生活はとても気持ちよく、皆さんの明るさや温かさを感じていました。友達を思いやる姿や、協力して活動に取り組む姿にたくさん元気をもらいました。授業では、一生懸命考え、英語で伝えようとする皆さんの姿がとても印象に残っています。皆さんと過ごした3週間は、私にとってかけがえのない時間となりました。この実習で学んだことを大切にしながら、皆さんとの出会いを励みに、これからも教師になるという目標に向かって努力していきたいと思います。3週間、ありがとうございました。

